

昨年の「NHK 紅白歌合戦」の平均世帯視聴率は、午後 9 時から 11 時 45 分までの第 2 部が、史上最低となる 34・3%（関東地区）。前年より 6・0 ポイント減で、過去最低だった 2019 年の 37・3%を大きく下回った。最大の要因は、若者向けへと舵を切ったことで、高齢者の紅白離れに拍車がかかったことは明らか。

なにしろはじめて見る歌手やグループ、はじめて聴く曲ばかり。楽曲もわけのわからない歌詞にテンポの速い曲を最大音響で鳴らす。これじゃ高齢者はとてもついていけない。疲れる。申し訳程度に演歌も登場するが、ナツメロを歌わされ、一曲ほんの 2 分程度。演歌をバカにしている。大晦日ぐらいは、家でゆっくりくつろぐ高齢者の方にターゲットを合わせてもらいたい。

それでも、大晦日には出来るだけ紅白歌合戦を見るようにしている。紅白歌合戦は、現在こういう音楽が流行っているというのがわかるいい機会で勉強にもなる。ただ、ずっとテレビの前で見る気にはならない。インターネット、YouTube 動画などを見ながらの、ながら視聴。

今回の紅白で唯一引き込まれた曲があった。「ケツメイシ」というグループの曲。思わずテレビの前に行って聴き入った。これ誰？何者？・・・初めて目にする名前。昨年メジャーデビュー 20 周年を迎え多くの人を魅了している男性 4 人組の日本を代表するヒップホップグループらしい。けったいな名前と思ったが、名前からくるイメージとは大違いでリズム、テンポがとても心地いい。紅白出場も納得。

これまでヒップポップやラップといった曲には全く興味がなかったが、この曲を聴いて興味が湧いてきた。元気が出そう。今回の紅白の最大の収穫かも知れない。早速ネットでこのグループについて検索してみた。詳しくは、このホームページの「今月のトピック動画」にまとめて掲載したのでご覧ください。

<http://www.hishinomi-gunma.sakura.ne.jp/~hishimig/ketumeisi.htm>

このあと最後の方で石川さゆりが登場し「津軽海峡・冬景色」を熱唱。これも素晴らしかった。やっぱり紅白に演歌は欠かせない。まさに時代も世代も越えて感動させることのできる曲だなと改めて思った。

「津軽海峡・冬景色」を聴くと一年が終わる……。紅白歌合戦はこれからも日本の大晦日の風物詩としてずっと在り続けてほしい。

(2022/01/10)

「ライフイズビューティフル」 歌詞

★君が流した涙が いつか花を育て咲かせて
君の目の前に 広がるはずだから
君が乗り越えた壁は いつか君を守る盾となって
君をそばで いつまでも支えるだろう

顔で笑って 心では泣いて
「楽しく生きる」どころでは無いって？
心配すんじゃないねえ 今はちょっと運がねえだけ
だから皆同じ もう少し踏ん張れ
君が倒れりゃ 肩も貸すし
もう歩けないなら 足にもなるし
困ったならば手を借り 時には手を貸す
そうやって人は「人生」という絵を描く
土砂降りの日もあれば 晴れの日もある
でも今日というこの日は いくら待てど二度無く
「泣き」「笑い」抱え 今君が生きてる
それだけの事で 誰か幸せに満ちてく
だからこそ言うんだよ 「生きるって素晴らしい」
悩んでる君に 捧ぐならばこんな歌がいい
泣きたい日は泣け 笑いたい日は笑え
美しき人生 君のままで

☆苦労 苦悩 越えた自分に
おはようハロー もう辛いじゃないよ
泣いたり 悩んだりするから 人生は美しい
ボディーブロー 耐えた自分に
おはようハロー もう辛いじゃないよ
泣いたり 悩んだりする 君だからこそ美しいから

思い通り行くこと少ない世の中
目的 夢もよく見えない ここから
だが時は経って 過去は去ってく
今日も新しい日々が待ってる
時に投げ出す 自分を隠さず
誰しも同じ思いがあるはず
不安な心 抱えた悩み
それは神様が君に与えた課題
現実と理想を彷徨う前に
立ち止まる勇気 見失う前に
もう振り返りたくない 過去でも
これからの幸せの数 数えよう
今を急がず その身を任せ
ありのまま気負わず 君らしくあれ
窓からの朝日 その目を覚まして
君しかできない 笑顔を咲かして

☆Repeat

些細な願いも 小さな幸せも
消えてしまいそうな 君へ
「目の前にある物 信じられなくなった」と
「もう嫌になったよ」と
呟いた君の言葉 聞こえたから
僕らは 君のそばで歌うよ
君が 笑顔になるのなら
素晴らしい人生の 途中から
また 再び笑えるのなら
美しき人生の 友だから

君が流した涙が いつか花を育て咲かせて
君の目の前に 広がるはずだから
君が乗り越えた壁は いつか君を守る盾となって
君をそばで いつまでも支える

★Repeat

☆Repeat